

最優秀賞

北広島町 『広報きたひろしま』（令和2年7月号）



■発行部数(年間発行回数): 8,500部(12回)

■担当課: 総務課

■連絡先: 050-5812-1850

【担当者より(主な記事の掲載意図)】

新型コロナウイルス感染症拡大の折、テレビや新聞では都市部の報道ばかりで、町民(特に高齢者)が不安に思う見出しが並びました。

当町のように町民同士のつながりが強く、高齢者の多い中山間地では、まず「一人ひとりが健康であること」、感染者が出た時に差別やデマを広げるのではなく助け合い「町民一丸で乗り越える」機運をつくるのが大切だと考えました。そこで、地域医療に根差した身近な医師から「都会とは違う感染症対策」や「田舎ならではの乗り越え方」を話してもらい、それを基調として各専門職から「今できること」を挙げてもらいました。併せて、それまで当町ではまとめきれいいなかった経済的な支援策を一覧表にまとめ、窓口への相談を呼びかけました。

＝講評＝

- 「田舎型感染症対策のヒント」という切り口は斬新。地域に根差した広報誌ならではの、とてもよい。巻頭の医師の言葉から、地元のいろんな立場の人たちからの実践的なアドバイス(運動や食事方法)まで数ページにわたってしっかり特集が組まれている。
- 田舎ならではのコロナ感染対策として、診療所の先生の話、体操、食事、ころなど多角的に紹介しており、大変好感度が持てる。おすすめの図書や支援プロジェクト、交流選手の手紙など、温かさも伝わってくる。
- 地元の診療所の先生からのメッセージでつづられた巻頭特集はとても大切なことが描かれており、地域への愛が感じられる。とくに「北広島町のみなさんにはきっとできるはず～」など、視点がしっかり絞られている点にも共感。
- 全体的に文字が大きく見やすいし、判りやすいように項目もレイアウトされ高齢者にも優しい作りは評価できる。

優秀賞

府中町 『広報ふちゅう』 (令和2年12月号)



- 発行部数(年間発行回数): 22,900部(12回)
- 担当課: 政策企画課
- 連絡先: 082-286-3127

【担当者より(主な記事の掲載意図)】

障害者週間にあわせて、障害者の就労に対する意識的なハードルを下げることを目的に「障害者の一般就労」をテーマに特集を掲載。雇用者、一般就労として働く障害者の人、その就労を支援する人、それぞれの立場からのコメントを掲載し、障害者の人や雇用主には就労・雇用に向けた動機付けとなるよう、一般の読者の人には障害に対する正しい理解につながるようといった意図を込めて掲載しました。

= 講 評 =

- 障害者の雇用について、雇用側、就労側、支援センターとそれぞれの声を挙げている。相談窓口の紹介もあり、悩んでいる人や必要としている人への誘導になるだろう。
- 重ためのテーマながら、課題や背景とその展開、さまざまな立場や視点からのコメントなど、とても読みやすい分量で簡潔にまとめられている。
- 言葉の使い方がやさしく、わかりやすい。
- すっきりと見やすく整理されている。